

ご協力お願いいたします

当店は衛生管理・水質管理の徹底を最重要視し、安心してご入浴頂ける公衆浴場としてお客様へお風呂をご提供致しております。しかし光熱費の高騰、食料品の値上げなどにより、経営の圧迫が続いており大変厳しい営業が続いております。お客様に於かれましてはご入浴時に節水のご協力を賜ります様、お願いいたします。引き続きお湯処美福をご愛浴よろしく、お願い申し上げます。



電気料金・燃料の推移グラフ

下記グラフとなりますが近年の光熱費のグラフとなっております。電機料金は1.5倍～2倍に上がっており、燃料費は夏場の使用量は少ないですが冬場は3倍以上の使用量（価格）となり大変厳しい営業が続いております。このままの状況が続きますと入浴料金の改定、時短営業や休日を設けるなど対策を取らなければならない可能性があります。つきましては、この難局を乗り越えるには経費削減などの経営努力は元より一人でも多くのお客様に当店をご利用いただき盛り上げて頂く事が最重要だと考えております。引き続き『お湯処美福』をより一層ご愛浴いただきます様、心よりお願い申し上げます。

令和2年～令和5年 電気料金推移



令和3年～令和5年 重油料金推移



冬の「冷え対策」と「美肌対策」

入浴がカラダに与える一番の効果は、温熱効果です。つまり、体温より高いお風呂に入ることにより、外側からカラダを温められるということです。この温熱効果には血行が良くなることにより「新陳代謝が促され皮膚の機能が上がる」「関節などのコリや疲れをほぐす」などの効用がみられます。本格的に寒くなる季節、特に手足が冷えるという方が増えております。これはカラダが気温の低下に伴い、体温を保つため毛細血管を収縮させ、内蔵中心を温めるようになるからです。これにより末端の手足は血液の流れが悪くなり、冷えてくるというわけです。カラダが冷えて血行が悪くなると皮膚に十分な酸素と栄養が行き渡らなくなり、また、新陳代謝が低下しやすくなります。それにより、皮脂や汗の分泌が悪くなり、肌の潤いを与える皮脂膜が出来にくくなり、肌が乾燥したり荒れてきます。入浴により、カラダを温め、血行を良くすることは、肌を美しく保つことにも効果があるのです！また、冷えからくる低体温が免疫力低下も招きます！日頃より温活を意識し、カラダを温めましょう☆

美福式 美肌入浴方法

- ①軽く体を流し、湯舟に浸かる
- ②先ずはしっかりと洗髪をする
- ③湯舟で体を再度、温める
- ④柔らかくなった体全体を洗う
- ⑤炭酸風呂など色々なお風呂を楽しむ
- ⑥お風呂を出る前に足に水をかける
- ⑦入浴後、しっかりとスキンケアを行う



ポイント① お湯の温度は38～40℃（炭酸泉・漢方薬湯など）
ポイント② 1回の入浴時間は7～10分程度のほどよい入浴を！



美福かわら版 特別号

令和6年
2月号

